

工事事務(速報)の情報提供について

工事の安全管理には、日頃から万全を期していただいているところではありますが、この度、残念ながら別紙に示す工事事務が発生しました。

各事務(管理)所の工事現場において、このような工事事務が再び発生することのないように工事事務概要を皆様にお知らせ致します。

本資料を活用し、請負業者を適切にご指導頂き、再発防止に努めて頂きますようお願い致します。

【工事事務(速報)発生状況】 (H22.4.30現在)

	4月発生件数	累計件数	死亡者数	負傷者数
平成22年度(今年度)	8件	8件	0人	4人
平成21年度(昨年度)	2件	2件	0人	1人

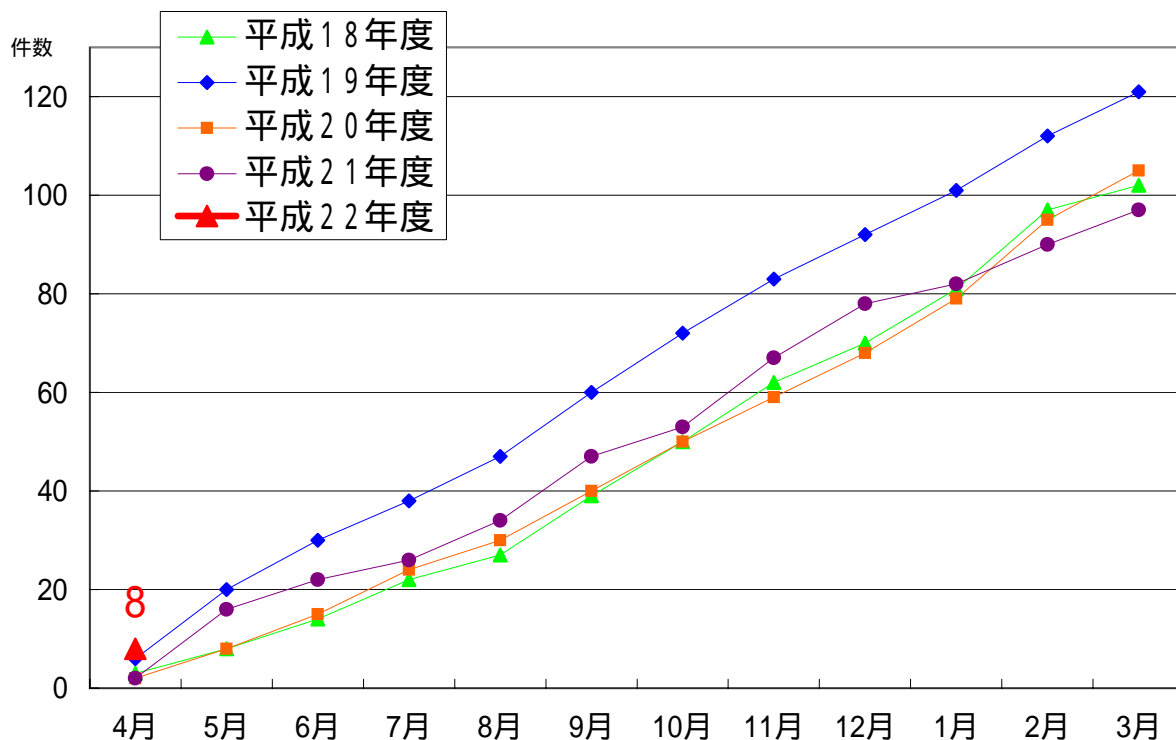
注1) 上記は、関東地方整備局管内の工事事務発生件数(速報)を示す。

注2) 「4月発生件数」は、4/1～4/30の間に起きた件数。(月毎)

注3) 「累計件数」は、4/1～4/30の間に起きた件数。(累計)

注4) 「死亡者数」・「負傷者数」は、4/1～4/30の累計人数を示す。

注5) 平成22年度の数字は「速報」であり、審査の結果、「不問」になる可能性がある。



問合せ先: 企画部 技術調査課 渡辺・直海 (TEL 048-600-1332)

発生日時	平成 22 年 4 月 6 日 (火)	11 時 30 分	天候	晴
工事情報	河川系事務所 一般土木工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	-	-	-	光ケーブル損傷
事故概要	バックホウを旋回させる際に、埋設されていた光ケーブルを引っ張り、損傷させたもの。			

事故発生状況



損傷状況

旋回するために、バックホウのバケットを堤防天端に差し込み、方向転換を行った。その後、バケットを斜め上方に引き上げた際、FEP管を引っ張ったことにより、光ケーブルを損傷。

【事故発生原因】

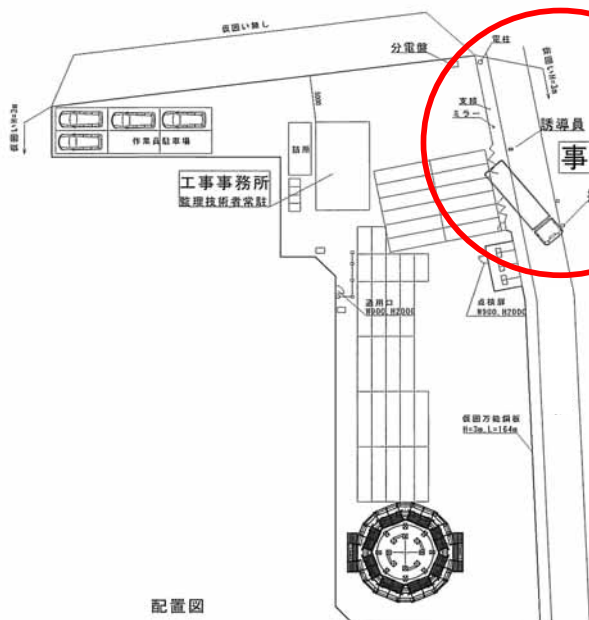
・光ケーブル埋設箇所にバックホウのバケットを差し込んで方向転換しようとしたため。

【事故防止のポイント】

・埋設箇所の表示 など

発生日時	平成 22年 4月 9日 (金) 15時 40分			天候	晴
工事情報	菅繕系事務所 建築工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	市所有の石柱損傷	
事故概要	仮設材搬出車両(10t)をバックで入場させる際に、車両の左前部分が歩道の石柱に接触し、倒したものを。				

事故発生状況



損傷状況

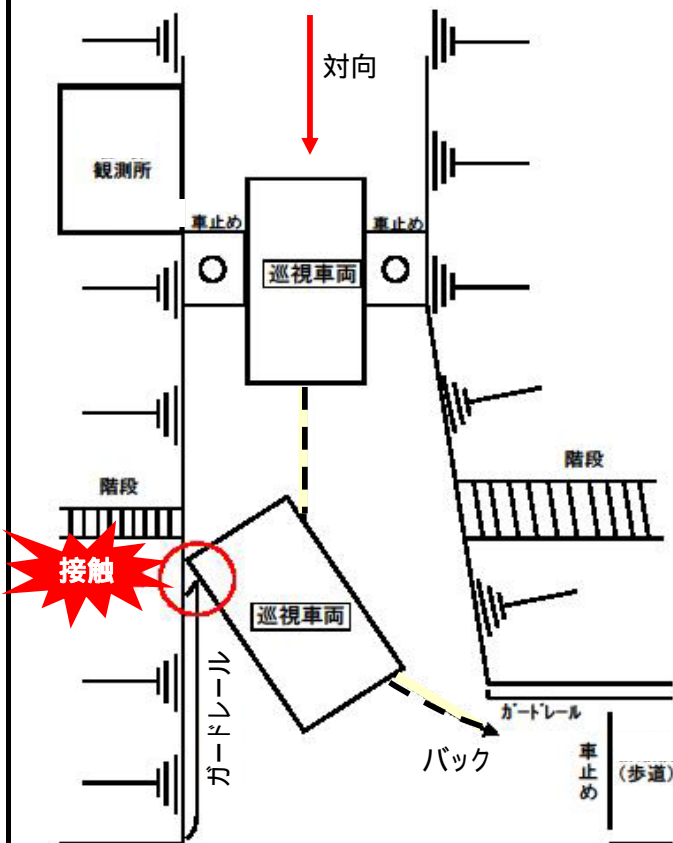
バックで現場に入場する際に、車両の左前部分が歩道の車止め石柱に接触し、転倒

【事故発生原因】
 ・運転手の周辺確認不足によるもの。

【事故防止のポイント】
 ・工事関係車両が入り出す際の方法について運転手に対して周知徹底する。
 など

発生日時	平成 22年 4月 13日 (火) 13時 45分	天候	晴
工事情報	河川系事務所 業務		
被災の状況	性別	年齢	職種
	-	-	-
事故概要	被災の程度		
	管理車両バンパー損傷		
事故概要	河川巡視中、堤防を走行中に対向車が来て、道を譲るためにバックしたところ、ガードレールに接触し車両バンパー部を損傷させたもの。		

事故発生状況



損傷状況

車止めの箇所まで進んだところ、対向車が来たため、バックした。その際、車両の左前部分がガードレールに接触し、車両バンパー部を損傷させた。

【事故発生原因】

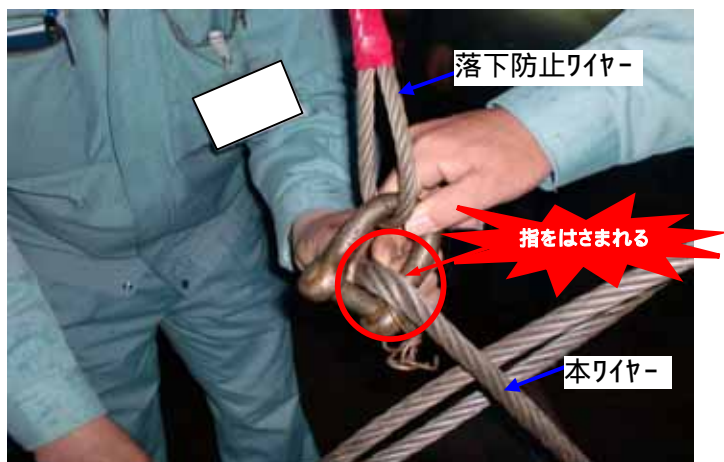
・運転手の周辺確認不足によるもの。

【事故防止のポイント】

・車両安全運転教育の徹底。

発生日時	平成 22 年 4 月 20 日 (火) 14 時 00 分			天候	雨
工事情報	河川系事務所 一般土木工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	男	60	作業員	左手中指裂傷	
事故概要	玉掛ワイヤーとシャックルを外す作業中、オペレータがクレーンを動かし作業員が負傷したもの。				

事故発生状況



・作業員がシャックルから本ワイヤーをはずそうとしていた。
 ・クレーンのフックが作業員の頭に当たりそうだったため、オペレータが作業員の状況を確認せずにワイヤーを引き上げたところ、作業員の指が挟まり負傷した

【事故発生原因】

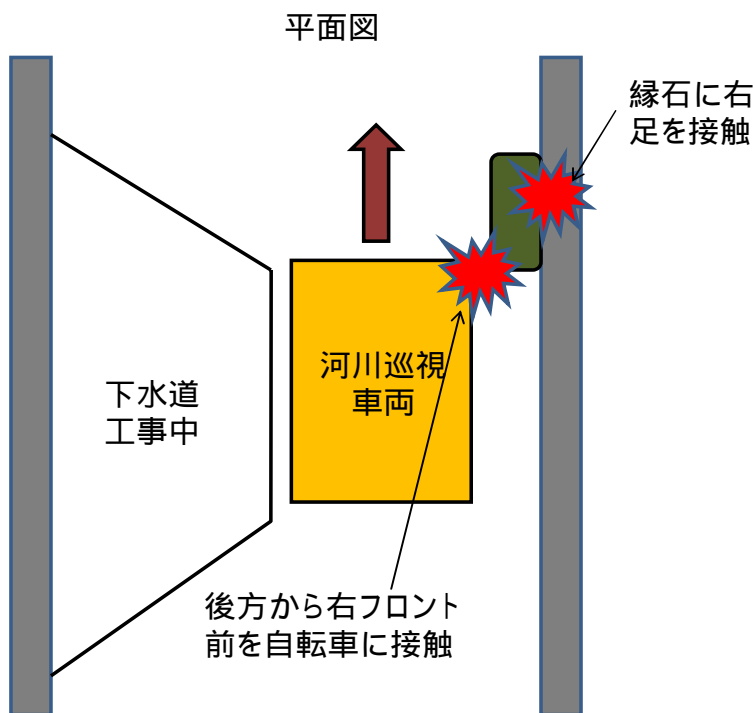
・オペレータの確認不足によるもの。

【事故防止のポイント】

・作業前に周囲の安全確認を行う。
 ・重機の運転は誘導員の合図に従う。 など

発生日時	平成 22 年 4 月 20 日 (火)			15 時 55 分	天候	曇
工事情報	河川系事務所 業務					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	男	13	第三者	打撲		
事故概要	河川巡視から事務所に戻る途中、車道を走っていた自転車と接触し負傷させたもの。					

事故発生状況



損傷状況

【事故発生原因】

・運転手の周辺確認不足によるもの。

【事故防止のポイント】

・車両安全運転教育の徹底。

発生日時	平成 22 年 4 月 20 日 (火) 12 時 55 分			天候	小雨
工事情報	河川系事務所 一般土木工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	-	-	-	バックホウの損傷	
事故概要	バックホウで盛土材を配土していたところ、ほぐした土砂で足場が不安定になり、法肩から転倒させたもの。				

事故発生状況



- ・盛土を延伸する作業で余盛土をほぐしながら土砂を振っていたが、ほぐしすぎてしまい、**足場が不安定**になっていた。
- ・足場が不安定な状態からバックホウを動かしたところ、転倒した。

【事故発生原因】

- ・土砂をほぐしすぎてしまい、足場が不安定になってしまったこと。
- ・誘導員をつけずにオペレータが作業してしまったこと。

【事故防止のポイント】

- ・作業の進捗状況の確認を徹底。
- ・重機の運転は誘導員の合図に従う。 など